

# 成年向けのスポーツ講習会をやってほしい

(平成15年12月提案)

提案というより要望ですが、毎週金曜日に諏訪周辺の情報チラシでいろいろな講座、教室の募集があり、「いいな、やってみたいな」と思うのですが全部岡谷市や諏訪市で「やっぱり」とがっかりしてしまします。講座の内容はフレームンコやヒップホップ、エアロビクス、料理教室などがあります。

私は子育て中でストレスがたくさんあります。実家が遠いので子供を預けることもできず、気分転換するような場所も友達もいません。富士見にもこのような講座があればストレスを発散できていいのと思います。できればスポーツクラブがあれば一日中やっているので好きな時間にできていいと思います。スポーツクラブを、町が多少補助してくれて、いつでも利用できる子供たちも健康で健全、そこで新しい仲間や新しい自分を発見でき、とてもいいと思います。どうか子育てママのために

も(託児所付きだと最高ですが)未来ある若者のためにもできた町主催のスポーツクラブを、それが無理なら講座、教室の開催をよろしく願います。

## 回答

ご提案いただきました「成人向けのスポーツ講習会」についてですが富士見町では、教育課体育係が主催するスポーツ教室および講習会が一年をととして計画され開催されています。計画表を添付いたしますので今後の参考にして頂ければ幸いです。

また、教育課生涯学習係(公民館係)においても文化系の講座、講習会なども開催していますので、併せて添付いたします。

なお、教室、講習会等の募集につきましては、有線放送、広報ふじみ、町のホームページ、報道機関等を通じて町民のみなさんにお知らせしておりますので、ご確認ください。

なお、希望される教室、講座等ありましたらご連絡ください。

次に、「スポーツクラブ」についてですが、富士見町にはスポーツクラブはございませんが、町民センター二階にトレーニングルームがございます。町民の方でしたらどなたでも無料で利用できる施設となっております。大勢の町民の方にご利用頂いておりますので是非ご利用ください。

また、使用方法や初心者の方のトレーニング方法等でしたら、体育係で説明、指導いたしますのでお気軽にお申し出ください。またストレッチ体操を主として活動してい

る団体もございます。その他にも各種スポーツ団体がございしますので、体育係までお問い合わせください。

## ▼教育課 体育係

☎ 62・2400 (有) 2750

なお、社会教育団体内にも社交ダンス、エアロビクス、気功教室など団体が活動しています。こちらの詳細につきましては生涯学習係までお問い合わせください。

同じく、社会教育団体には、子育て支援サークル、未就園児を持つ母親の交流サークルなどございますので、興味がありましたら併せてお問い合わせください。

## ▼教育課 生涯学習係

☎ 62・7900 (有) 8145

## 富士見町の農地を荒れない、荒らさないことを考えてみませんか？

(平成15年12月提案)

平成16年の作付から水田転作制度がなくなり、各農家では老人が主となり、農業作付けが行なわれている。富士見町の農業である集落では老人が1名死亡すると農地が40a荒れてしまうと聞きました。数十年前に富士見町では農業基盤整備事業が行なわれ、地区によっては全然整備事業に着手しなかった集落もいくつかありました。し

かし整備事業を行なったところ、そうでない集落に関わりなく、今後の農地をどのように考えますか？

私の考えでは各集落で荒れている土地の現状を調査し、その上で何らかの作物を作る人がいるか、いないか調査しその土地に合った作物を作る方法がないだろうか？  
①集落の中で集約・集団化できないか  
②多くの土地があるとするならば法人化農業ができないか

## 回答

ご提案いただきました「今後の農地の再利用について」ですが、ご指摘のとおり、富士見町の農業においては、農業従事者の高齢化・農業の後継者不足・農地の荒廃化等、沢山の課題を抱えております。加えて、近年は食の安全安心の高まりにより生産者と消費者の顔が見え、お互いに支えあう農業に力が注がれている状況にあります。

さて、町の農地面積は1千700ha余りありますが、農地の荒廃防止・集団化を目的とした、農地保有合理化事業をJAと町で進めており、今日現在で187件、372haの農地が規模拡大や集積され有効利用されています。

また、集落が中心となって地域農業を発展させようとする地域営

農システム事業を平成12年度から実施しています。具体的には、営農センターへ営農指導推進員を設置して、安全安心のPR・営農組織の立ち上げや農作業の受委託等を推進しており、幾つかのグループも生まれており、地域の担い手も生まれております。

しかしながら、これらの農業問題を一気に解決する状況には至っていません。

来年度から始まる新しい米政策においても、農業の担い手をどうするかが大きな課題となっており、認定農業者の育成と組織化を進めております。今までは、自己完結型の農業でよかったわけでありましたが、農業問題や課題を解決するためにはこれらの組織を活用し、一人でも多くの方の意見をいただく中で政策に生かして行きたいと思っております。是非、ご理解をいただき、積極的に参加提案をお願いいたします。

今後とも町政に関してのご意見、ご要望をお寄せいただき、町政の発展のため、お力添えいただけますようお願い申し上げます。